



ERINA REPORT (PLUS)

No.158

✓ 今号の見どころ

特集： コロナショックとモンゴル経済

ERINA 調査研究部主任研究員 エンクバヤル・シャクダル

..... 1 ページ



今号では「新型コロナウイルス感染症とモンゴル経済」について特集を組みました。

モンゴル経済も新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、大きな打撃を被っています。中でも観光業は深刻な影響を受けた産業の一つです。また外国人旅行者に対する国境閉鎖により、民間航空、ホテル、外食、娯楽など観光に密接に関連する産業も直接的な影響を受けています。

モンゴルにおける新型コロナウイルスの感染状況、感染防止対策、経済への影響などについてまとめました。

ロシアにおける水素エネルギー産業の展望

ロシア科学アカデミー石油・ガス研究所エネルギー戦略・安全保障分析センター長
グープキン記念ロシア国立石油ガス大学教授 マステパノフ・アレクセイ

..... 23 ページ

ロシアは自国のエネルギーのニーズを国内生産によって完全に賅っているだけでなく、最大のエネルギー輸出国でもあります。そのロシアが世界的な脱炭素化の潮流のなかで、水素エネルギーの開発に取り組んでいます。

本論文ではロシアの水素エネルギーの開発の現状を分析しています。水素の生産と利用の分野における国際協力の展望について、興味深いのは、ロシア政府関係者の間では、日本は二国間協力の相手国として有力な国の一つであるとの認識がなされていることです。



インタビュー 「新潟の酒を全国へ、世界へ」

..... 35 ページ



新潟県酒造組合では2018年11月香港で「生牡蠣と白ワインのペアリング」という定説に果敢に挑戦し、「生牡蠣と新潟清酒のペアリング」の実験を行い、現地の食通をうならせ、新潟清酒の輸出に結び付けてきました。そのスピリットは今も引き継がれ、コロナ禍の難局を乗り越えるため様々な取り組みをはじめます。新潟県酒造組合水間専務理事に組合の活動と新潟清酒に対する想いをお話いただきました。